

「災害時の対応

～病院運営で何が問題で何をするのか～」

病院における災害対応の実践的課題とその対応策について、能登半島地震で生じた問題や今後高い確率で我々が被災する可能性がある災害(南海トラフ地震、首都直下地震)を想定して解説する。

長期的対応が求められる災害では、災害対応マニュアルと BCP の違いを明確にして、人的・物的資源が限られる中で、優先業務を選定し判断する組織や訓練が重要である。特に発災時に全国共通の判断指標である病院行動評価群 Ver4 の重要性を概説する。社会の高齢化がもたらす課題や経営視点での課題も言及する。

講 師

阿南 英明 氏

地方独立行政法人
神奈川県立病院機構 理事長



＜略歴＞

新潟大学医学部卒業。2012年 藤沢市民病院救命救急センター長、2019年 同院 副院長、2020年 神奈川県健康医療局医療危機対策統括官 等を経て2024年より現職。

神奈川県病院協会 顧問 兼 参与、神奈川県 顧問(健康医療政策担当)、東京科学大学(旧東京医科歯科大学)臨床教授、一般社団法人日本災害医学会理事などを務める。

＜学会・資格＞

日本救急医学会救急科専門医・指導医・評議員、日本社会医学系専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医・指導医、米国内科専門医会・内科学会(ACP)正会員など

ZOOMを用いてのオンライン開催

日 時

【ライブ配信】令和8年2月10日(火)16時～17時30分 (質疑応答含む)

【録画配信】2月24日(火)～3月9日(月)まで

申込方法

URL(<https://forms.gle/PycGwiR2gHSrNZnQ7>)又は QR コードの参加申込フォームから、お申込みください。(1月15日より申込可)
※後日、視聴希望者あてに URL をお送りします。



申込締切

令和8年2月4日(水)